

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【319】

2. 日時：令和4年11月18日 10時00分～10時50分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

千明主任安全審査官、津金主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、
三浦主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、
谷口技術参与、山浦技術参与※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他14名※

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他5名

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁のチギラです。それでは島根原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを開始いたします。本日の説明項目は、耐震計算書の、
0:00:14	個人評価対象の網羅性、既工認との資本損益の整理及び、
0:00:20	弾性設計用地震動SDの設定についてとなります。それでは、事業者の方から、資料の確認と、本日の左の進め方について、お願いいたします。
0:00:34	はい。中国電力の佐野です。本日の提出資料としましては、
0:00:39	全部で 5、
0:00:41	ゴトウ所あります。ナンバー1、N-S2 ほか 130 回 02。
0:00:48	こちらが村瀬についての回答整理表になります。
0:00:51	ナンバー2、資料番号N-Sにほか、02302 回、03。
0:00:58	こちらが網羅性の説明資料となっております。
0:01:02	ナンバー3。
0:01:04	寝ずに他、
0:01:06	094 回、
0:01:09	02、こちらが基準地震動Ss及びSDの回答整理表になっております。A TSBは 11 月 2 日です。
0:01:20	No. 4N-Sに. 200102 回 02。
0:01:27	こちらがSS及びSDの説明資料、それから
0:01:33	すいません、こちらは 1 月 11 日の提出となっております。ナンバー5N-Sに他、
0:01:41	02316、甲斐 01、こちらが積地震動SD。
0:01:48	の設定についての資料となっております。エスビーは 11 月 2 日です。
0:01:56	で説明化たとしてしましては、もらせえそれから、Ss-Dの
0:02:03	コメント回答となっておりますので 1 問 1 頭形式でやらせていただければと思っております。以上です。
0:02:11	木曾伊東テフラです。後ろの方もありますし、進め方についても了解しました。それでは説明の方をお願いいたします。
0:02:23	はい。中国電力の佐野です。それでは先に網羅性の方の説明をしたいと思えます。
0:02:32	ナンバー市村線の回答整理表 1 ページお願いします。
0:02:40	1 ページのコメントNo.11、こちらのコメント回答としましてコメント内容が、防波扉の評価部位について網羅性を確認することとなっております、
0:02:50	回答としましては、ナンバー2 の通し番号 41 ページお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:05	41 ページ左側、別表第二対象施設の下の表の
0:03:11	防波扉の評価部位についてですねこちらに関しまして網羅性を確認し、評価部位の記載を修正しております。
0:03:21	また、次ページ、42 ページお願いします。
0:03:28	42 分、42 ページの評価対象一覧の防波扉の評価部位に関しましても同様に記載を修正しております。こちらのコメントに対する回答は以上です。
0:03:42	はい、わかりました。それでは確認する方、お願いします。
0:03:50	規制庁の服部です。ちょっと1点だけ確認させてください。
0:04:00	あ、規制庁のハツリです。
0:04:05	防波壁通路防波扉の1号機北側と2号機について、
0:04:10	これセイキタイの様子扉の、
0:04:14	調査は行わないとなってるんですけども、この理由を説明していただけますかどうぞ。
0:04:26	中国電力の織田です。
0:04:28	こちらについては今回対象が耐震評価になりますので、今回
0:04:35	評価対象部位としましてはヒンジ部と門単価分と書いております。ただ共同計算の方では額の方も調査しております。
0:04:43	以上です。
0:04:45	規制庁の服部です。耐震評価の時ワー、
0:04:50	扉は慣性力として揺れるだけD力は門とか、
0:04:57	信じ、
0:04:58	やアンカーボルトにかかるので、
0:05:01	耐震評価についてはこの3点の評価対象とするという理解でよろしいですかどうぞ。
0:05:08	中国電力小田です。おっしゃる通りでございます。以上です。
0:05:13	規制庁のハツリでそれ扉としては扉の慣性力によって変形するようなものではないという理解なんでしょうかどうぞ。
0:05:24	中国電力小田です。おっしゃる通りです。以上です。
0:05:27	規制庁のハツリですはいわかりました。それでは、この
0:05:31	No.11 については了といたします。私から以上です。
0:05:39	はい、規制庁チギラいず、今の11番に関連して確認する、追加でありますか。
0:05:46	はい。よろしければ、
0:05:49	それでは、次の説明をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:54	はい。資料No. 1、2 ページ、お願いします。
0:06:02	はい。資料No. 1 回答整理表の 2 ページ、コメントナンバー1045、につきまして、
0:06:09	ナンバー18 に関する内容となっておりますのでナンバー18 を説明した後にご説明したいと思います。それでは 78 の方お願いします。
0:06:20	こちらのコメント内容としましては、土木構造物の解析モデルについて地盤と構造物のモデル化方法を具体的に記載した上で、他プラント含めた設工認への適用性を説明することとなっております。
0:06:34	50 ページ、資料ナンバー2、網羅性の 50 ページお願いします。
0:06:48	50 ページの方に、気候 2 度の手法の整理一覧表。
0:06:54	が載っておりますこちらの表内解析モデル。
0:06:59	の方に地盤と構造物のモデル化方法をそれぞれ具体的に記載しております。表の一番上取水層の方を、
0:07:10	1 例にご説明いたします。
0:07:13	解析モデル内の非線形地盤のモデル化、こちらにつきましてはマルチスプリングモデル、及び双極性モデルを用いて非線形性を考慮しております。
0:07:26	全応力解析につきましては修正G1 モデル、有効応力解析につきましてはHDモデルとしております。
0:07:33	また、構造物のモデル化につきましては、線形はり要素及び応力要素でモデル化しております。
0:07:41	またですね各土木構造物について他プラントを含めた設工認での適用性というものを整理いたしまして、表の右側、
0:07:51	他プラントを含めた既工認での適用例、こちらの方をすべて見直しを行っております。
0:07:59	また、今回ですね、解析手法の変更等を踏まえて角度、土木構造物の記載を見直した箇所が幾つかございますので、
0:08:10	今からそちらの説明をさせていただきます。資料ナンバー2 の 48 ページ、お願いします。
0:08:21	48 ページ、表の一番下、二つ、防波扉に関する解析手法の記載ですが、こちらにつきましては、構造の見直しに伴いまして、
0:08:33	設備の固有周期に基づく応答加速度による評価というふうに解析手法を見直しております。
0:08:42	また、51 ページお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:49	51 ページの表、一番上、屋外配管ダクトタービン建物から排気塔、こちらの解析手法につきましては、
0:09:00	3次元静的材料非線形解析、こちらを行うことになっておりましたが記載が漏れておりましたので追記しております。
0:09:09	52 ページお願いいたします。
0:09:15	52 ページ、表間接支持構造物の集水榦、こちらの解析手法、につきましては、先行サイトの実績等を踏まえて、
0:09:26	公式等による評価の方に解析手法の見直しを行いました。
0:09:31	No.18 に関するコメントの回答は以上となります。
0:09:41	はい。
0:09:42	規制庁の千明です。それでは、ナンバー18 に対するコメント回答に対する確認。
0:09:50	があればお願いします。
0:10:01	規制庁の宮です。
0:10:03	土木食うかがですね、結構細かく書いていただいたということで、むしろ建屋側とかですね整合がとれてなくなっちゃったところがあるんですよ。
0:10:14	例えばね、
0:10:19	原子炉建屋の基礎スラブ
0:10:22	ですよどこだろう。
0:10:27	原子炉館野です。基礎スラブ例えば制御してもいいんだけど、
0:10:31	46 ページとか見ていただくと、
0:10:35	これ基礎版の応力解析のところ、
0:10:38	暴力解析のモデルが3次元FEMモデルってだけになってるんですよ。
0:10:43	ところが、土木の方は、3次元の非線形のシェル要素とか、
0:10:48	そういうことを書いているので、でやってることは、非線形の場合同じなので、ちょっとフェーズがあっなくなっちゃったんで、
0:10:57	建築の方もちょっと土木側と合わせて、木曾ダムの要素ですね30mっていうだけではなくて、積層シール用いてるとかベースを合わせていただきたいんですがいかがでしょうか。
0:11:20	中国電力の落合です。承知と記載を、ご指摘あったように承知いたしましたちょっと土木の方がですね記載充実されたということで、建築後少し頭にあって先ほど言われた断層成果品辺りだと思いますけど、
0:11:34	主にそこら辺を中心にですね記載のほうを少し充実させたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:43	はい、鬼頭チギラです。他にありますか。
0:11:46	ちょっと私の方からですね。すいません今回
0:11:51	ここで土木構造物の構造物のモデル化ということで扇形のところで、細かくですねMIであったり、ファイバーっていうことで書かれているんですけど、
0:12:03	これ個別の計算書に行った時に補足説明資料っていうのは、と同じぐらいの情報っていうのは入ってくるのかどうなのかっていうところ確認なんですけど。
0:12:12	いかがですか。
0:12:18	はい、中国電力の吉本です。こちら。
0:12:21	の資料に記載しているものは補足説明資料、各構造物の補足説明資料で読み取れるような資料となっております。以上です。
0:12:29	はい、わかりました。
0:12:31	他、何かありますか。
0:12:33	はい。
0:12:35	よろしいですかね。はい。では次の説明をお願いします。
0:12:43	はい資料No. 1、回答整理表の2ページ、コメントNo.14の方お願いします。
0:12:52	コメント内容としましては、公益について各構造形式において設計手法を整理するとともに、防波扉、防波壁のグラウンドアンカーのように、施工実績のないものについて内容がわかるように説明することとなっております。
0:13:08	こちらの回答としましては、資料ナンバー2の通し番号16ページ、お願いします。
0:13:21	16ページの10行目から、添付7、すいません。
0:13:28	通し番号
0:13:30	すいません。テープ7の修正に伴いまして線形地盤及び、構造物のモデル化の方法を具体的に記載いたしました。
0:13:41	またですね次ページ17ページお願いします。
0:13:47	17ページのbポツcポツの大島浦野各構造形式において解析手法、及び評価部、評価方法を整理いたしまして
0:14:00	明確に記載しております。こちらのコメント、対する回答は以上となります。
0:14:08	はい。規制庁寺田です。今の回答について、確認する点ある方。
0:14:13	いいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:16	はい。
0:14:17	大丈夫ですのでこちらについては了としたいと思います。それでは次をお願いします。
0:14:24	はい。事業電力の佐野です。資料No. 1、コメント会。
0:14:30	回答整理表、
0:14:32	の2ページ、No.15、お願いします。コメント内容としましては、
0:14:38	構外工認において既工認と異なる評価手法を適用するものについて、考え方がわかるように詳細に説明することとなります。
0:14:49	こちらの回答としまして資料ナンバー2の通し番号15ページ、お願いします。
0:15:01	15ページの1行目から、構造部材のとありますが、こちらに関しましては添付7の修正に伴いまして
0:15:11	オカ配管ラックと、度建物から廃棄等に関して非線形地盤及び構造物のモデル化の方法を具体的に記載させていただいております。
0:15:23	また、同じページの15行目、こちらに関しましては、取水像について線形地盤と構造物のモデル化の方法を具体的に記載しております。
0:15:36	コメントNo.15に関する回答としては以上となります。
0:15:42	はい。規制庁チギラです。それでは今のコメント回答に対して確認する点ある方。
0:15:48	よろしいですかね。はい。
0:15:50	それではこちらの回答についても了としたいと思います。
0:15:54	はい。
0:15:55	それでは、次の説明をお願いします。
0:16:02	ここがですね適正化につきましてはいくつか、こちらでご説明したい内容がございますので、適正化リストの方、
0:16:11	お願いいたします。
0:16:16	すいません白ナンバー1を3ページの方ですね。
0:16:22	3ページのナンバー27、こちらの適正化に関する説明をさせていただきます。資料ナンバー2の通し番号28ページ、お願いします。
0:16:39	資料ナンバー2、柴野28ページ、こちらの表、
0:16:43	敷地内土木構造物に関しまして敷地の部構造物としてフクイ
0:16:50	を設置することに伴い備考欄の方に記載を追記させていただきました。また、汁番号資料ナンバー2の当初は5ページ、及び41ページに、
0:17:04	こちらの変更に伴いまして敷地内土木構造物の評価方針を記載させていただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:11	27に関する設備、あ、すみません、続けて。
0:17:16	白ナンバー、
0:17:18	I-A4 ページ、お願いします。
0:17:25	ナンバー41、Aの適正化の内容についてご説明させていただきます。白ナンバー2 通し番号 42 ページをお願いします。
0:17:42	42 ページの最新プラントにおける評価に関しまして酒税層序人件エリア防水平均に関する記載が漏れておりましたのでこちら、追記させていただきました。
0:17:57	またですね資料No. 1、4 ページの
0:18:02	ナンバー42 の適正化について、資料ナンバー2、同じく 42 ページ。
0:18:10	こちらの、
0:18:12	表一番下、取水管及び取水口につきまして、
0:18:17	最新プラント等の相違点、こちらの記載に関し、何についてですが、最新プラントの構造がRCに対しまして島根では、合材
0:18:30	となっておりますので最新プラントに相当、
0:18:33	するといった記載に見直しております。
0:18:37	次、白ナンバー1、
0:18:40	5 ページお願いします。
0:18:46	5 ページの適正化リストナンバー43。
0:18:51	こちらの適正化。
0:18:53	の内容に関しまして資料No. 2、通し番号の 42 ページ、同じページですね、すみません、お願いします。
0:19:05	こちらの 42 ページの、
0:19:09	当該プラントにおける既工認の評価に関して取水槽、それから 43 ページの
0:19:19	屋外配管ダクト、タービン建物から排気塔に関する記載が漏れておりましたので追記しております。また、
0:19:30	当該プラントにおける既工認の評価、こちらの構造物のうち、既設構造物につきましては該当なしを意味する斜線となっておりますが、すべて記載なし。
0:19:43	に見直し記載の統一化を図っております。
0:19:50	資料ナンバー1、
0:19:53	ー5 ページ、適正化の番号が 45、お願いします。
0:20:04	ええ。
0:20:05	こちらの適正化の内容につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:08	資料ナンバー2 の 50、通し番号 58 ページ、お願いします。
0:20:26	58 ページの一覧表一番上の第 1 ベントフィルタ格納槽への解析手法について隣接構造物。
0:20:37	の位置付けが、検討中であり、
0:20:41	方針確定後反映するといった中期オオツカがついておりましたが、こちら、方針が確定したためちゆ注記を削除し、解析手法を明確化いたしました。
0:20:54	適正化の説明としては以上となります。
0:21:01	すみません中国電力のショウガンです。すみません。本社側から続けて、回答整理表のNo.46 のご説明いたします。すみません資料ナンバー一番回答整理表の 5 ページお願いします。
0:21:16	ナンバー46 についてこちらは今年の 9 月 14 日に実施の原子炉建物の地震応答計算書に関するヒアリングにおいていただいた、
0:21:26	適正化に関するご指摘だ、係る対応でございます。
0:21:30	資料ナンバー2 番の補足説明資料の 60 ページをお願いします。
0:21:39	9 月 14 日のヒアリングの際には、その他資料N-S2 オカ 191、
0:21:46	として提出しておりました、建物構築物の主な解析手法の資料を、こちら、今回資料ナンバー2 の補足説明資料の添付 9
0:21:56	としてまとめております。
0:21:59	また、都会資料ナンバー1 の回答整理表の 5 と資料No. 1-5 ページをお願いします。衛藤ナンバー47 をお願いします。
0:22:10	9 月 14 日に実施の原子炉建物の地震応答計算書に関するヒアリングにおいていただいた、適正化に関する対応でございます、いずれも添付 9、先ほどご説明しました添付 9 の表の記載を適正化しております。
0:22:26	適正化に関するご説明は以上です。
0:22:32	はい。
0:22:34	それでは今、説明いただいた適正化箇所に関して確認する点がある方、お願いします。
0:22:46	よろしいですかね。
0:22:59	はい、それでは、
0:23:03	適正化まで、
0:23:05	説明いただいて、既工認手法との相違点の説明、事業者からの説明は以上ということよろしいですか。
0:23:13	はい、中央電力の佐野です。説明としては以上でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:19	はい、わかりました。それではコメント回答以外で、ちょっと資料確認してですね新たに確認する点がある方、
0:23:30	確認をお願いします。
0:23:43	規制庁植木です。
0:23:47	ちょっと機器配管系に関してなんですけど
0:23:52	資料の 2 番。
0:23:55	通しの 8 ページ。
0:23:59	ですね
0:24:02	1.1. 2 の(1)の機器配管系の記載。
0:24:07	この黄色ハッチングのところなんですけど、ここで以降ですね、
0:24:16	適正カーのリストには
0:24:20	と言って前回は、
0:24:24	この静的地震力の組み合わせとかの件が、
0:24:30	9 ページの 1.1. 3 のところに載っていた。
0:24:36	ものを、1.1. 2 の(1)の方に、大体そのままずらしたと。
0:24:44	ということ。
0:24:46	なんですけど、
0:24:48	そもそもですね
0:24:52	地震力の組み合わせ、動的地震力の場合、SRSSにすると、ただ、静的地震力。
0:25:02	については、同時に不利な方向。
0:25:06	へえ。
0:25:07	これ絶対あのことを言ってるんだと思うんですけど、等という、
0:25:14	この記載って、この資料にそもそも載せる必要が、
0:25:19	ちょっとあるのかどうかっていうところをちょっと伺いたかったんですけど、他の
0:25:26	資料で、この地震力の組み合わせとかを説明するところって何かあるような気がして、
0:25:35	コウノ、この資料っていうのはどちらかっていうと何か網羅性みたいな。
0:25:43	話をしているので今ちょっとこの機器配管系のところにこう書いてあるのが、
0:25:50	何か唐突に、いろいろなことが書いてあって、
0:25:59	下の二つもちょっと唐突感はある。段落 2 段落の二つ持とうと痛感はあるんですけど、これは何か先行からの流れで、
0:26:09	特記事項みたいな形で書いてあるのかなと思ってこれはこれで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:16	先行と同じなのでまあいいかなと思うんですけど、この地震力の組み合わせ。
0:26:23	に関してここに、この資料に何か書く必要があるものなのかどうかっていうのをちょっと教えていただきたいんですけど。
0:26:40	はい中国電力のクラムスです。ご指摘の通り、この今の静的地震力動的地震力の組み合わせ方法については、当然こちらの資料の中だけではなくてですね他の耐震設計の基本方針、
0:26:54	頭の中でも、ほぼ同様の方針としての作文を記載をしていたかと思っておりますので、そういう意味では、この手法の相違点網羅性の資料の中でわざわざ特記する必要があるかと。
0:27:09	ということで申し上げますとあまり必要性としては薄いのかなというふうには思います。で、ちょっと恐らくはおそらく先行プラントさんの資料等も参考にして作成をしておりますのでそういったところの記載でもともと、
0:27:24	配記載あったものを今回 1.1. 2 項の方に記載位置を変えてですね整理し直したということで現状ではこのような構成になっております。
0:27:35	はい。以上です。
0:27:38	規制庁植木です。えっとですね。
0:27:41	ちょっと私が見た範囲ですと、このSSた、
0:27:48	評価とか、ストレナーの異物の話とかこれは確かに先行にも書いてあるんですけど、それから地震力の組み合わせについては、
0:27:57	特に書いてなかった島根で初めて何かこの資料で入ったような気も。
0:28:05	するのでちょっと確認いただいた上で、必要性も含めてちょっと検討をお願いしたい。記載、ここに記載する必要性も含めて、
0:28:15	再度ちょっと検討をお願いしたいんですけど。
0:28:21	はい中国電力のクラムスです。承知いたしました。
0:28:24	先行機の記載としては今ちょっと手元で女川、
0:28:29	の方の資料は確認させていただきましたけども、女川の方では、もともとの 1.1. 3 項の方に今のこの組み合わせの記載もあったようで、当社はそれを
0:28:41	1.1. 2 の方に移動してきましたですねちょっと整理したような形で現状としてはこのようになっておりますが、はいご指摘の通り、本来この組み合わせ方法
0:28:51	方針としてですねきちんとしかるべき図書に明記されているべきものではないしてはいるんですけどもはい、そういう記載であってここでここまで書く必要があるかというのはいはい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:03	ご指摘の通りかなと思いますのでちょっと記載の要否については再検討させていただければと思います。はい。以上です。
0:29:10	規制庁植木です。はい、わかりました。女川にも記載があるということでその点は、
0:29:18	理解しました。
0:29:20	それから、小令和、
0:29:23	ちょっと細かい話で申し訳ないんですけど、その次の段落で、SDスターの評価においてんだってさ。
0:29:33	最後の語尾が実施しているっていうふうになっていて、
0:29:38	他は各
0:29:40	全部、
0:29:41	他のところは全部するとか行うとか、
0:29:45	方針として書いているんですけどこの実施し、ここだけ実施していると書いてるのは、何か意図はあるんでしょうか。
0:29:59	中国電力のクラムスです。
0:30:01	はい。ちょっと記載がぶれていて申し訳ございませんが特別の意図を持って、しているという、現在進行形を変えているわけではないと思いますのではい他とあわせて方針として実施すると。
0:30:16	ということで見直したいと思います。以上です。
0:30:21	規制庁、植木です。よろしく申し上げます。ちょっとこの、この記載は何か、あえて何か先行から先行っていうか、既工認からやってる話なので、
0:30:34	何か、あえてここに書く必要があるかなっていうのもちょっとあるんですけどこれは先行んならって書いてるっていうことなので、
0:30:44	特にこだわりません。
0:30:48	現状のままでもいいかと思います。
0:30:51	それから最後にちょっと
0:30:56	これは教えてもらいたい。
0:30:59	ですけど、
0:31:00	資料No. 1、
0:31:04	の、
0:31:06	回答整理表の、
0:31:09	4 ページ。
0:31:12	なんですけど、
0:31:17	回答No.34 のですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:23	頭から浸水防護施設について基準地震動 S_s による静的地震力に対して評価を実施する構造物が、
0:31:34	あることからって説明なんですけど、その下に、
0:31:40	変更運転が書いてあって、
0:31:43	そう。今回は、 S_s による動的地震力に対してってこの動的をとって地震力に対してって、
0:31:54	ふうに変更していて、これはこれで変更については、あえて動的と言う必要はないというのは、
0:32:03	理解したんですけど、上の説明で、 S_s による静的地震力に対して評価ってというのが、ちょっと、
0:32:14	意味がわからなかったんで、
0:32:18	説明をお願いします。ちょっと土木の門外漢なので、恐縮なんですけど、よろしくお願いします。
0:32:28	はい、中国電力イワコケです。
0:32:31	今、基準地震動 S_s による静的地震力についての説明ということですけども、
0:32:36	土木構造物のほとんどのものは、
0:32:39	地盤と構造物を連成させた動的地震力を与えてそのまま評価を行うんですけども、
0:32:44	一部構造物につきましては、その地震ごと解析の結果から、
0:32:48	加速度を抽出しまして、その加速度を静的に作用させた、ここを等価アオノ応力解析を行いまして照査を行うものがございます。そういったものに対して、基準地震動 S_s による、
0:33:01	静的地震力というふうに記載をさせていただきました。以上です。
0:33:07	規制庁植木です。
0:33:10	内容はわかりました。ただ用語の使い方として、多分機械機器側とか、建物側ってというのは、
0:33:19	地震動 S_s とかSD
0:33:21	の地震力に対してはこれは動的地震力といって、あと建築基準法ベースの静的、
0:33:29	建築基準法ベース数のものをする静的地震力というふうに言ってるのと比べると、ちょっと先ほど説明、
0:33:43	された
0:33:46	用語の使い方とちょっとずれてるような気がして、これ、
0:33:51	回答整理表なんで特にあまりこだわるものでもないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:58	どういところがちょっと気になったので、
0:34:03	動的解析やってその結果出てくる加速度を使って静的にやるっていうのは、どちらかっていうと何か、解析手法っていうか、静的解析か動的解析かっていう話で、
0:34:16	地震力、さっき言った動的地震力と静的地震力という言い方。
0:34:24	とはちょっと違うのかなというふうにならなかったので、ちょっと確認しました。
0:34:31	はい。中国電力のヨシツグでございます今、植木さんおっしゃられた通り、
0:34:36	解析のやり方が静的っていうだけでありまして、静的地震力と言いますと、道具で言えば 1.0Ciとかそういったに取られてしまいますので、
0:34:46	どちらかという、地震動で出てきた応答値、加速度もしくは動圧といったようなものを、
0:34:53	静的解析で与えているというものでございますちょっと誤解を受けないような表現にここの、適正化のところの文章だけ少し見直しをさせていただけたらと思います。以上です。
0:35:03	規制庁、植木ですはい。よろしく検討をお願いします。私からは以上です。
0:35:15	はい、規制庁の千明です。
0:35:17	それでは
0:35:19	②の資料、網羅性、既工認手法の相違点の整理に関してですね、他に確認する方、点がある方、お願いします。服部さん。
0:35:33	規制庁の服部です念のための確認をちょっとさせていただきますこれちょっと教えていただきたいということにもなるかもしれません。
0:35:42	②-1 の 17 ページをお願いします。
0:35:46	ここにcポツのところ、ほぼ出水、あ、ごめんなさい。
0:35:55	浸水防止設備の方については、
0:35:59	津波に対する設備の方については、概ね弾性状態にとどめるということで、許容応力度法でやるという旨がずっと書かれています。
0:36:09	1 点だけこの鋼管杭だけが限界状態設計法になっていて、
0:36:14	ちょっと限界状態設計法って意味合いが広くて、イメージとしては、
0:36:19	安全係数を使って耐力評価をするっていうのがない、何となくイメージとして浮かんだんですけど、
0:36:26	ここの限界状態法のスーツという使い方については、
0:36:31	49 ページ 2 ありますように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:34	曲げについては降伏モーメント、
0:36:42	せん断についてはせん断応力って書いてあると思うんですけども、
0:36:46	これ曲げを降伏でやるので、限界状態設計法って書いたというふうに理解すればいいんですかね。
0:36:53	せん断応力についてはこの許容力度法でやるということで理解すればいいんですか。どうぞ。
0:37:03	中国電力の小田です。おっしゃる通りで、曲げについては、降伏モーメントで調査しておりますので、限界状態設計法という表現をしております多田千田については、
0:37:16	せん断応力度で、短期許容応力度で調査しておりますので、こちらについては、衛藤協力の方によって評価しております。以上です。
0:37:26	規制庁の服部ですはい意味合いは理解しましたのでこれで結構です。私から以上です。
0:37:31	はい。中国電力より少しだけ補足させていただきます降伏モーメントにつきましても弾性であるということの説明して、そういった協議会にしておりますので、
0:37:41	ちょっと表現だけがこういったなってるということで、ご理解いただけたらと思います。以上です。
0:37:49	はい。規制庁の千明です。他に。
0:37:52	都丸の資料全体通して何か確認する点ありますか。
0:37:56	よろしいですかね。
0:37:59	はい。
0:38:01	それでは、
0:38:02	次の、
0:38:04	説明の方をお願いします。
0:38:08	中国電力の仲村です。それでは続いて、基準地震動Ss及び弾性設計地震動SDの策定概要について、記載適正化に関しまして資料3と資料5を用いてご説明いたします。
0:38:22	3番の資料回答整理表の2ページをお願いします。
0:38:27	記載適正化のうち主なものとして本日、5番と8番についてご説明いたします。
0:38:33	まず、5番についてですが、
0:38:37	資料5番の4ページを、
0:38:40	お願いします。
0:38:44	4ページの図2-1において

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:47	旧玄海①と②につきまして注記を追加しましてそれぞれの許容限界の説明を追記しております。内容としましては、前の3ページに記載の説明と同様となりますがこの図の中でわかるようにした形となります。
0:39:03	なお前回のヒアリングにおいて図の右の方に、衛藤N=1からN=3.0の記載がありまして、このNの定義についてご質問いただいております。
0:39:15	で、改めてこの引用している文献を確認しましたが、
0:39:21	厳密にNが何を示しているという定義の記載は特になく、従来よりこの青字で追記しておりました。Nの値に応じて保有ベースシア係数を
0:39:33	変えていると、ということが4、資料、引用の文献からは読み取れましたので、こちらについてはこの青字の記載のままとさせていただきます。
0:39:46	続いて
0:39:49	3番の資料の2ページ、記載適正化の8番についてご説明いたします。
0:39:55	資料5番の15ページをお願いします。
0:40:03	15ページと続く16ページに、SDの応答スペクトルと一様ハザードスペクトルの比較を示しておりますが、
0:40:11	こちらに基準地震動 S_s-D の0.8倍のオートスペクトルを追記しております。判例で言いますと一番下、紫色の線となります。
0:40:22	また14ページにおいて、
0:40:24	一段落目の一番最後の記載ですが、基準地震動 S_s-D の0.8倍、これの年超過確率が10のマイナス4乗からマイナス6乗程度である旨、
0:40:35	それから、2段落目の中ほどですが、設定した弾性設計地震動SDDからSD湾については、JEAG4601のaに記載されている発生確率に対して、
0:40:49	妥当な範囲ありますが、仮にSDを S_s-D の0.8倍と設定した場合には、
0:40:56	この条約の記載の発生確率を下回るものの大きく乖離する旨を記載しました。
0:41:03	さらに、17ページをお願いします。
0:41:08	17ページの表3-1の④、SDの年超過確率の欄ですが、こちらについても先ほどと同様の記載を追加しております。
0:41:19	S_s 及びSDの策定概要についての適正化のご説明は以上となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:26	はい。規制庁の千明です。それでは、今説明があった適正化課長について、確認する点がある方、お願いいたします。
0:41:42	よろしいですかね。
0:41:44	はい。
0:41:46	それでは、今の説明については、良ということとしたいと思います。
0:41:53	では続いて説明は何か、まだありますか。
0:42:00	中国電力の仲村です当社から特に説明する事項はございません。
0:42:05	はい、わかりました。
0:42:07	それでは規制側から、全体を通じて何かありますか。
0:42:11	きっちり。
0:42:12	そびれた点とか、
0:42:14	大丈夫ですかね。
0:42:15	WEB参加の山浦さん何かありますか。
0:42:19	特にありません。
0:42:22	はい、わかりました。
0:42:24	こちらからは特にないんですが中国電力から何かありますか。
0:42:29	はい、中国電力イワコケです。こちらから追加でご説明する事項はありません。以上です。
0:42:35	はい、わかりました。それでは本日のヒアリングの方、終了いたします。ありがとうございました。
0:42:41	ございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。